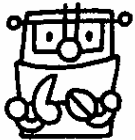


オキシドールを使わない、酸素の作り方を教えて



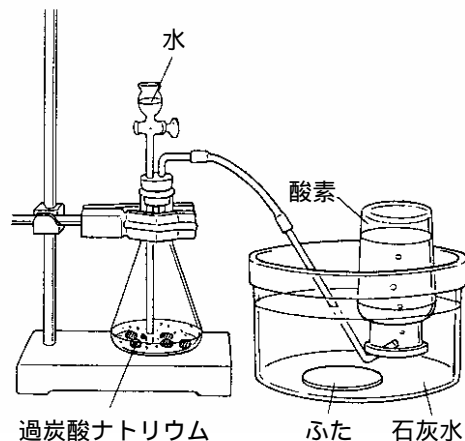
酸素系ひょう白ざいを使うと、かんたんに酸素がつくれるさ。

粉の酸素系ひょう白ざいを水にとかすと酸素ができる

ひょう白ざいには、酸素系ひょう白ざいと塩素系ひょう白ざいの2種類があります。酸素系ひょう白ざいの中にも、過酸化水素をおもな成分にした液体のものと、過炭酸ナトリウムをおもな成分にした粉のものがあります。酸素系ひょう白ざいは、活発な酸素が出てきて、ひょう白が行われます。

酸素系ひょう白ざいの過炭酸ナトリウムが主成分のものは、粉を水にとかすだけで、酸素と二酸化炭素の気体が出てきます。そこで、右図のようにして、出てきた気体をせっかいすい石灰水を通して集めます。

二酸化炭素は石灰水によくとけますが、酸素はあまりとけないので、びんに集まる気体は、酸素だけになります。石灰水は、二酸化炭素のため、白くにごってきます。



ひょう白ざいとすり下ろしたジャガイモで、酸素がつくれる

過酸化水素を主成分にしたひょう白ざいは、オキシドールと同じようなものですから、二酸化マンガンを入れると酸素が出てきます。二酸化マンガンのかわりに、生のレバーや、すり下ろしたジャガイモを使うと、カタラーゼというこう素のはたらきで、過酸化水素が分解されて酸素が出てきます。けがをしたとき傷口きずくちにオキシドールをぬるとあわが出るのは、体内のカタラーゼのはたらきで、さっきんりよく殺菌力のある酸素が出てきたのです。